

政策目標全般

項番	意見内容	会場	事務局回答(当日)
1	政策目標全般 政策目標2 30ページ以降に、茅ヶ崎市に特有の政策目標が見当たらない。水産業の振興についての記述があるが、茅ヶ崎市は本当に水産業を振興しようとしているのか。	小出支所	骨子は、市民ワークショップ、関係団体とのヒアリングを行いながら、市で作成したものである。今後10年間の計画であるため、色々な方向にも進めるような書き方になっているという面はあろうかと思う。今後、茅ヶ崎らしさをいれる視点で整理していきたい。
2	政策目標全般 政策目標-行政経営 政策目標の並び順について、世間では子育てが重要視されているが、地域が活性化していなければ、子育ても難しいので、「子育て」と「地域活力」の順位は逆ではないか。また、「地域の活力」と「共に見守り支え合い」は、地域に住んでいる人間にとっては一緒のものである。今後地域に力を持ってもらおうという発想ならば、もう少し違った目標の設定、並び順があるのではないか。まちから協議会に力を発揮してもらおうとか、地域の行政センターをコミュニティセンターの中に置くなどの発想が必要なのではないか。他市の状況をみながら、将来を見据えて、当たり障りのないものではなく、実態に即した目標設定を盛り込むべき。	小出支所	どこにいても適用する計画との指摘に対しては、今後、茅ヶ崎らしさをいれる視点で整理していきたい。
3	政策目標全般 本日の資料は「茅ヶ崎市」の総合計画の骨子であると思うが、第2編総合計画の第4章(P30)以降に「茅ヶ崎市」という語はほとんど見当たらない。また、茅ヶ崎市に特有の目標も示されていない。本資料のP30以降を誰かに示して、どの市の総合計画であるかを言える人はいないであろう。コンサルティング会社がいろいろな市に適用する「総合計画」を作り、各市で「検討中」の枠内を埋めるように作って納品した資料ではないか。「茅ヶ崎市」の中身がある骨子を示して欲しかった。失望した。	小出支所	(アンケート)
4	政策目標全般 小出にも人が住んでいます。それなりに中心地域が必要です。環境にも配慮した、行政をお願いします。	小出支所	(アンケート)
5	政策目標全般 政策目標から、茅ヶ崎市の強みや弱みがみえない。茅ヶ崎市の課題から政策目標を導いていると思うが、課題を抽出するまでに強みや弱みが分析されているのか。例えば、茅ヶ崎市は自宅で亡くなる高齢者が多いというデータがあるようだが、その要因がわかればそれを強みとして生かす政策を打ち出すことができるのでは。また、相模線をうまく活用して、今茅ヶ崎駅に向かっていく人の流れを変えることができないか。ゴルフ場をどう活用するかといった政策も、茅ヶ崎市の持つ強みを生かす観点から考えられないか。ハワイ感を出すなど明るいものを出していったほうがよいのでは。	香川公民館	総合計画はどうしても網羅的になってしまうが、もう少し茅ヶ崎市の色が出るよう考えてみたい。小出支所では観光に注力すべき、という意見もあった。
6	政策目標全般 ・茅ヶ崎市の強み、弱みを反映した茅ヶ崎らしい目標、高齢者の活用、推進課、ゴルフ場、ホノルル。 ・高齢者 65歳以上⇒70〜75歳以上にすべきか。	香川公民館	(アンケート)
7	財政の将来見通しと財政方針 政策目標全般 歳入、歳出についてお聞きしたい。 3年後には、従前の今までやっている計画、あるいは費用が歳出予算を超えており、それがどんどん超えていくことになっているのが現状かと理解している。 新しくいろいろな事業を追加されようとしているなら、何が新しくなり、何を止めるのか、もう少し明確にできないかと思う。	鶴嶺公民館	財政の見通しについては、人口減少が始まる中で、かなり自由度がなくなってきたところがある。 何をしないところを総合計画の段階でどこまで書き込むかというのは、さまざまな調整が必要になってくるので難しいと考えている。詳細は実施計画で定めることになるが、メリハリの効いた実施計画になっていなかったところが、現総合計画の反省点と考えている。今回新たに検討していくにあたり、実施計画に重点戦略を入れ、メリハリを利かせた実施計画を庁内で横断的に取り組んでいきたい。次世代に過度な負担を残さないようにしなければいけない一方で、そのために何をやるべきかは、多くの方との丁寧な議論を進めて決めていきたいと考えている。
8	人口動態政策目標全般 この20年の間にマンションや新しい家など建物がどんどん空き地にできて様変わりしている。 環境によって人口の構成がまったく違う形になることを前提に計画は考えてもらわないといけない。 毎年、通学している子ども達が確実に増えている。環境が変わっているのだから、通学時間の問題なども改善していく必要がある。 このような計画をされるときには、一般的なものではなく、環境も含めて考えてもらわないと、まちづくりのプランが違ったものにならないか。	鶴嶺公民館	小中学校の問題は、地域によって人口の動きだけを見てもかなり大きな差が出ていることは承知している。 その辺りを踏まえて計画を策定する段階で考えてきているが、総合計画ということでは、ある意味では大雑把な書きぶりになってしまうところはある。 そのような現状はいろいろな施策をやっている担当課を踏まえて、計画策定に臨んでいるところなので、その点をご理解いただければと考えている。
9	政策目標7 政策目標全般 総合計画は漠然としていて、個別計画がどうなっているかわからない状況になっている。 住みやすい憩いの公園が増えたためしがなく、「公園や緑地の計画的な整備・維持管理」と書いてあるが、新しく確保してつくる姿勢はまったく見えない。 市民目線に立ったお金の使い方を、この文章も公園などの新たな確保も入れてほしい。 特に、市税を使うことについては、住民を優先したお金の使い道として、ごみや公園など、市民目線に立ったお金の使い方を優先してほしいということが希望である。	鶴嶺公民館	公園が増えていないという点については、土地を相続した地主の希望により、致し方なく返還している部分が多いかと思う。 担当課は増やしたいという思いはあるので、候補地を探していると思うが、最近はずくろろという話に至った例があるのかわからない。 昔も、青少年広場は増やしたほうがよいという話もあったが、総論賛成各論反対のようなところの中にはあり、なかなか難しかった。 茅ヶ崎市は他市と比べてそういう空間が少ないまちであるのは間違いないので、そのような空間を増やすよう努めていきたいと思っている。
10	政策目標1 政策目標2 政策目標全般 財政面でこれからは伸びが期待できない。 ロボット特区などの特区の中で企業を誘致して法人税を上げるということを考え、そういう質問をしようと思っていたが、今までの話を聞くと非常に暗い。 もう少し明るい財政を、収入を上げるために今はこうしているとか、待機児童を解消してもっと働いてもらうとか、そういう明るい話をぜひ聞かせてほしい。	松林公民館	人口が減っていく、だけど高齢者の割合は増えていくという中で、1人の高齢者を支える人数も減ってくるというイメージで説明した。 今年、茅ヶ崎市は補正予算を取って国の地方創生の交付金などもいただき、その交付金を利用して子育て世代の転入プロモーションを展開しはじめており、子育て世代の引越先として茅ヶ崎市を選んでもらって来ていただくというところを目指すプロモーションも始めている。 また、昨日のまちづくり懇談会では、観光のまちに特化していくべきではないかというご意見が幾つか出ていた。 そのようなことに対して皆さんからご意見があればいただきたいと思う。

項番	意見内容	会場	事務局回答(当日)
11	政策目標全般 市の行政サービスに70～75%満足の人が80～85%を求めての声が大きく、これにより決定されるように思えます。 行政サービスを個人側より指数できないか？	松林公民館	(アンケート)
12	政策目標全般 ・人口を増やす施策を入れて。主題に ・税収を増やす施策を入れて。主題に	松林公民館	(アンケート)
13	政策目標3 政策目標全般 本日は、要約筆記記者派遣をありがとうございました。障害のある人もない人も安心して快適に暮らせる街づくりをして頂きたいと思います。 また、環境問題や、少子高齢化など全国レベルでの課題にも茅ヶ崎でできることをやって頂きたいです。	市役所(9月21日)	(アンケート)
14	人口動態 政策目標全般 素晴らしい計画ができていてと感じている。これまで茅ヶ崎市の人口は増えていたので、その問題は切実に考えていなかった。人口や子どもの減少は大変重要な課題としてどこも取り上げられているが、気持ちとしては、茅ヶ崎市は、これからも人口は増加するまちであってほしいと思う。今回の総合計画は、人口減少を前提としたものとなっているが、人口減少を抑える、さらには人口が増加するような総合計画にしてほしい。この基本計画の内容を拝見したところ、人口増加に向けた対策がないように思う。	体験学習センター	市としても、人口は増加させたいと考えている。また、人口が減少をしてしまうとしても、そのスピードをゆるやかにしていきたいと考えている。茅ヶ崎市は、まだ転入超過の状況は続いており、その状況を続けていきたいと考えている。また、小さな子どもがいる子育て家庭に選んでもらえるまち、全ての市民が住み続けたいと思えるまちとして、まちづくりを進めていきたいと考えている。 ご指摘の子ども減少に対しては、政策目標1で子どもを産み育てやすいまちづくりや、子どもたちの教育環境について記載している。
15	茅ヶ崎市の特徴 政策目標全般 茅ヶ崎市の魅力として豊富な自然環境や交通の便などもあるが、もう一つ、市民の方が立派で、人材が本当に豊富であることも強調してほしい。茅ヶ崎市の未来像を中に、立派な人材を登用すること、市民の主体的な活動の中に入れてもらいたい。是非、その方たちに先頭に立って、市民の文化や生活を盛り上げてもらうことで、茅ヶ崎市の文化都市としてのイメージが素晴らしいくなるのではないかと。	体験学習センター	茅ヶ崎市では、退職された後も、地域で活躍していただいている市民が多い。高齢者の増加は、多くの知識や経験を持つ方が多いという強みでもあると考えている。高齢者の方の知識や技術を生涯学習などを通して学ぶ機会を作るチャンスだと考えているので、市としても、活躍の場や学びの場づくりに取り組みたいと考えている。
16	政策目標1 行政経営 政策目標2 政策目標4 政策目標全般 社会の形が大きく変化する中で、悲観することなく未来を創っていくことが出来たらと思います。 ①そのためには、市民主体のまちづくりが大事だと思います。それに対して、現状は活動している人が限られていると思います。市民参加を促進するイベントの実施、コミュニティ形成、市民への業務委託が増えると良いと思います。 ②ハワイ、ホノルル姉妹都市であることをもって活用して、観光、市のブランディング、相互留学、サーフィン大会など、バリアフリービーチ、茅ヶ崎らしさ、魅力を高められると良いと思います。 ③指標として、数値も大事ですが、具体的事例を出すのはいかがでしょうか？良い取り組みをしている市民活動、行政の動きが見えるといいと思います。	体験学習センター	(アンケート)
17	政策目標全般 行政運営の基本姿勢 財源が一番ネックになっているのだと理解している。少子高齢化にもなって、政策自体もやむを得ず、前向きに進められないのだと思う。 財源対策として、転入してもらって取組が必要だと考えており、そのためには、他市と比較して、特徴ある施策をあらゆる分野で押し出していく必要があると考える。砂防も、例えば、観光として活かすために、電気自動車を道路沿いに走らせるなど、産業的な事業も検討しながら、道路も観光も総合的に検討する必要があると考える。いろいろな分野の人と具体的な施策の検討を積み重ねていくことが重要だと考える。 行政運営の基本姿勢は素晴らしいと思う。すぐにはできないと思うが、これから、この姿勢を踏まえて進めてほしい。市民としても、すぐに具体的なアイデアが出ないもの、今後も膝を突き合わせて話し合っていきたい。	小和田公民館	他市と比較しても、魅力的なまちづくりをすすめていきたいと考えている。高齢者が多いという茅ヶ崎市の特徴は、課題もあるが、豊富な経験を持つひとが多いということでもある。市民のみならず力を合わせて進めていきたい。
18	政策目標全般 将来の想定が楽観的過ぎないか。人口減少リスク、特に労働人口が一気に減少するいわゆる「2040年問題」、また災害リスクが今後の大きなリスクだ。今の体制で十分対応できるのか、またサービスを維持できるのか。そういったリスクマネジメントを強く意識して、政策目標では、理想的な目標というよりも、きちんと評価できる目標・課題を設定すべきだ。	ハマミーナまなびプラザ	総人口・労働力減少、税収減少は市でも危機感を持っており、子育て世代の呼び込み等に取り組んでいる。今後は重点的に取り組むことを絞り込んでいき、サービスの効率化・施設の統合等も含めて経費削減に取り組む必要があると考えている。
19	政策目標全般 7つの政策目標自体は他市町村と大差のない標準的なものだろう。具体的な実施計画が分からないと、内容についてはまだ判断しにくい。7つの目標については、今後、並行的に進めていくという考えなのか、それともこの中で市としてランク付けをしていくのか。	ハマミーナまなびプラザ	総合計画の段階では、仰るように総括的な面もあるが、総合計画としては、どの政策目標においても何かしら取り組むべき内容はあると思われ、バランスが悪い計画は良くないと考えている。何を重点化するか、ということは実施計画の中で考える必要があると考えており、重点戦略という形で、その時々で将来に向かって重点的に取り組む事項をいくつか柔軟に打ち出していきたい。